

第7回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり

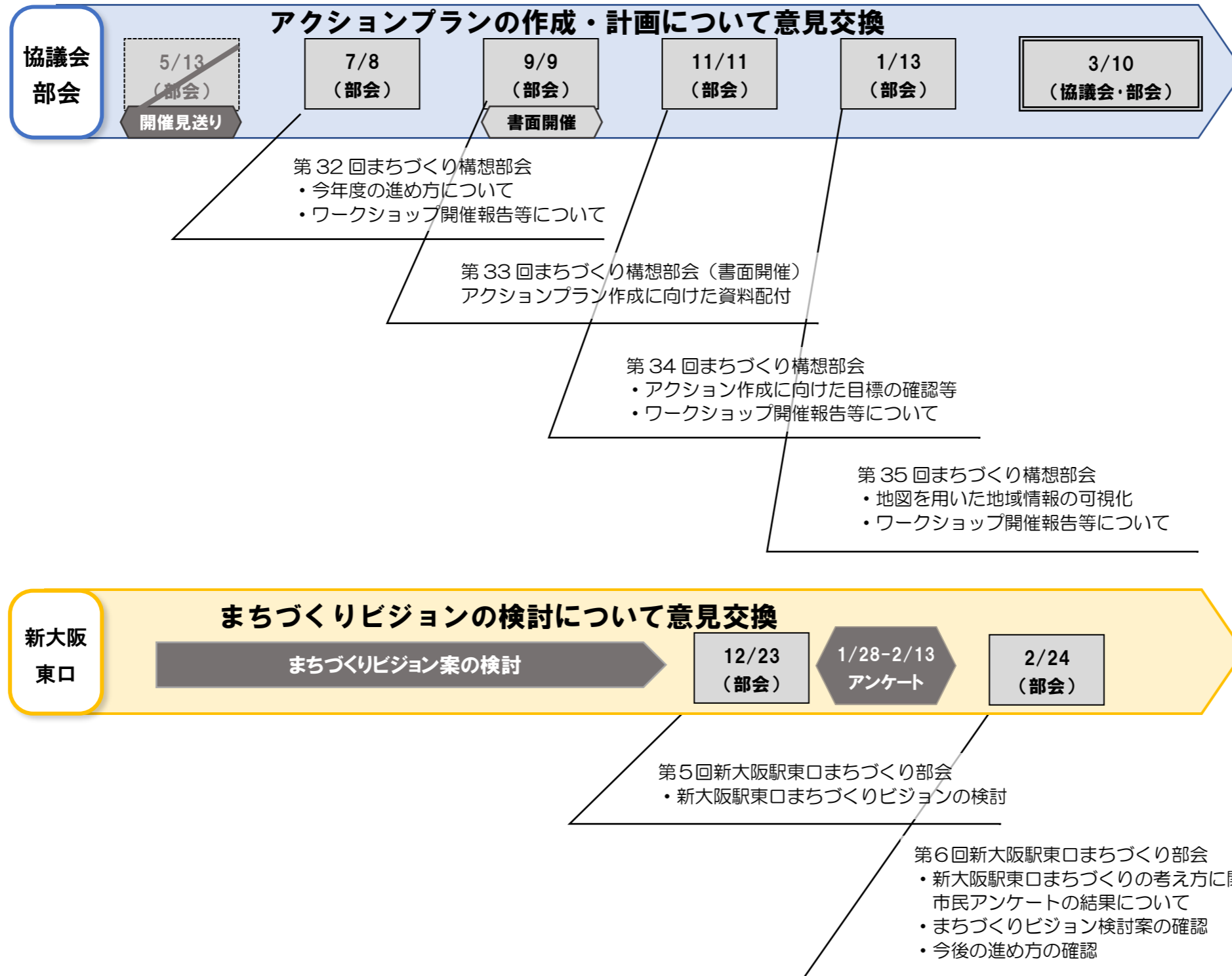
協議会資料

令和4年 3月

●令和3年度 活動報告

第32回まちづくり構想部会から第35回まちづくり構想部会において、各地域の取り組み等を報告し合うことにより情報の共有や意見交換等を行ってきました。また、今年度は昨年度に引き続きコロナ禍の影響が大きく各地域内でのワークショップの開催などが困難だったことやアクションプランの作成状況の振り返りを行い、アクションプラン作成に向けてまちづくり構想部会のメンバーで目標の再確認や地域への報告会（仮称）開催について検討を行いました。なお、第33回まちづくり構想部会については、緊急事態宣言下のため資料配付による書面開催としました。

新大阪駅東口まちづくり部会においては、第5回新大阪駅東口まちづくり部会にて新大阪駅東口まちづくりビジョンの検討を行いました。また、令和4年1月28日から令和4年2月13日までの期間で大阪市行政オンラインシステムを用いた市民アンケートを実施し、第6回新大阪駅東口まちづくり部会にて、市民アンケート結果の確認やアンケート結果を反映したまちづくりビジョン検討案の確認、次年度以降の進め方の確認を行いました。



●令和4年度 活動予定

アクションプランの作成（令和4年度～）

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

テーマ毎の活動方針

【まち・施設の整備】

- 様々な災害に対して強いまち
- 保育所、幼稚園、子育て施設の充実
- 多様な世帯構成に対応した住宅の確保
- 駅前の交通結節点の強化、駅間の移動手段
- 住宅地と生活施設をつなぐ交通手段
- 大型店舗、コンビニなどの商業施設
- 駅ナカ施設の充実

【空間づくり・場づくり】

- 明るい駅前空間（交番、街灯、建物）
- 様々な人が集まれる地域の居場所づくり
- だれもが安全に利用できる駅前歩行空間
- お年寄りがちょっと休憩できる空間
- 大人の目が届く子どもの遊び場
- 子どもの第3の場所（学校・家庭以外）
- 歩きたくなるまち（商店主との交流など）

【地域活動】

- 障がい者にやさしいソフト面の取り組み
- 若い世代が活躍できる「楽しい」地域活動
- スポーツや趣味など垣根を越える地域活動
- 地域の行事・文化の継承
- 子どもの見守り活動
- 商店街のコミュニティビジネスへの支援

【情報発信】

- 情報発信・情報化に対応
- 高齢者への情報伝達
- 情報発信・にぎわいづくりに対応
- 歴史文化施設へのスポット、情報発信

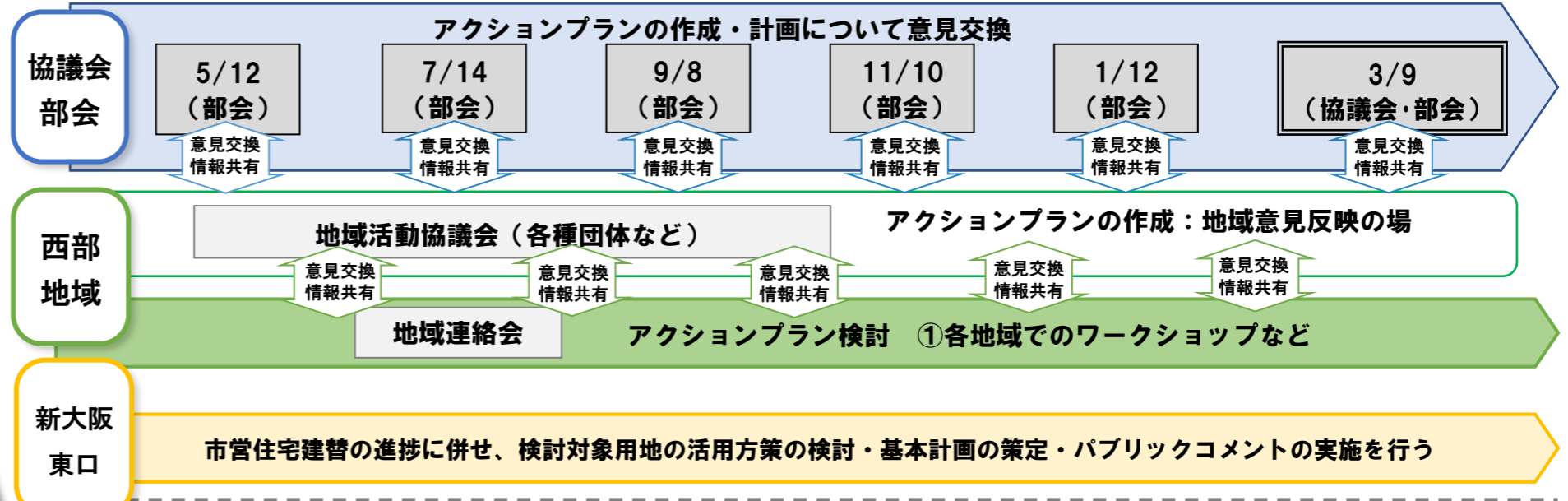
【環境づくり・組織づくり】

- 地域で互いに見守りができる関係づくり
- 社会的な孤立を防ぐ仕組みづくり
- 地域内で住み替えができる住環境づくり
- 若い世代が参加しやすい環境づくり
- 地域活動に参加しやすい環境づくり
- 地域に入りやすい環境づくり
- 女性も決められ、男性も動ける組織づくり
- 「つなぎ役」を増やす環境づくり
- 商店街の結束、後継者育成

●令和4年度「西部地域バリアフリーまちづくり協議会・部会」スケジュール（予定）

令和3年度に引き続き、バリアフリーまちづくり構想の具体化に向けたアクションプランの作成を行います。協議会、部会と並行して、各地域でワークショップなどによる優先されるテーマの抽出、具体的な取組みの検討を引き続き行い、アクションプランを策定します。

令和3年度の状況を考慮し、地域とのアクションプラン策定に向けた進め方の調整が必要だと考えられます。



● 検討内容および体制

